

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 07-225801

(43)Date of publication of application : 22.08.1995

(51)Int.Cl.

G06F 19/00

G07D 9/00

G07D 9/00

(21)Application number : 06-018331

(71)Applicant : HITACHI LTD  
HITACHI CHUBU SOFTWARE  
LTD

(22)Date of filing : 15.02.1994

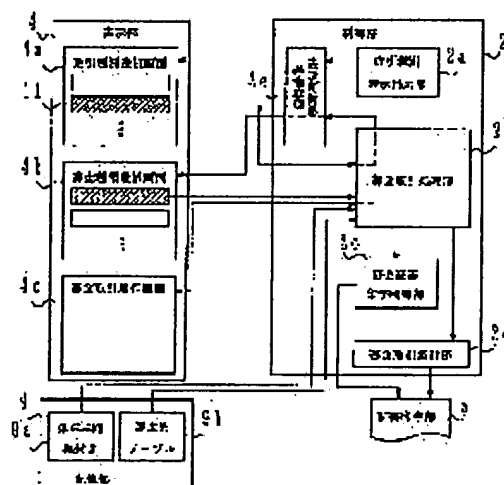
(72)Inventor : FUKAYA SADA0

## (54) FUND-RAISING TRANSACTION SYSTEM FOR AUTOMATIC FINANCIAL TRANSACTION DEVICE

(57)Abstract:

PURPOSE: To promote participation of users to a campaign for fund-raising to activate this campaign and to save the labor of the bussiness of this compaign by facilitating the fundraising operation in an automatic financial transaction device.

CONSTITUTION: The automatic financial transaction device which performs the pertinent financial transaction processing based on operator's key input according with a guidance picture is provided with a transaction classification display output part 2a which displays plural transaction items including the transaction for fund-raising as a picture, a fund-raising transaction processing part 2b which displays respective fund-raising classification items as a picture based on the selective input of the item of the fund-raising transaction and performs the fund-raising transaction processing corresponding to the selective input of a fund-raising classification item, a fund-raising destination table 9b where transfer destinations such as banking organ names and account numbers are registered correspondingly to respective fund-raising classification items and which is referred to by the processing part 2b at the time of transfer to the selected fund-raising classification, and a fund-raising deed printing control part 2c which controls printing-out of the transaction result in the processing part 2b.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application]

BEST AVAILABLE COPY

converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平7-225801

(43) 公開日 平成7年(1995)8月22日

(51) Int.Cl. <sup>6</sup>	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 6 F 19/00				
G 0 7 D 9/00	4 2 6 C		G 0 6 F 15/ 30	3 6 0
	4 5 1 C			3 2 0
			審査請求 未請求 請求項の数3	OL (全 7 頁)

(21) 出願番号 特願平6-18331

(22) 出願日 平成6年(1994)2月15日

(71) 出願人 000005108

株式会社日立製作所

東京都千代田区神田駿河台四丁目6番地

(71) 出願人 000233457

日立中部ソフトウェア株式会社

愛知県名古屋市中区栄3丁目10番22号

(72) 発明者 深谷 貞夫

愛知県名古屋市中区栄3丁目10番22号 日

立中部ソフトウェア株式会社内

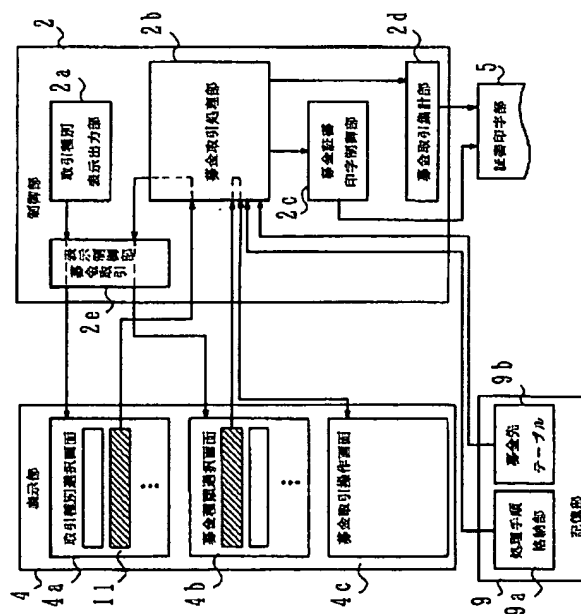
(74) 代理人 弁理士 磯村 雅俊

(54) 【発明の名称】 自動金融取引装置による募金取引システム

(57) 【要約】

【目的】 自動金融取引装置での募金操作を容易にし、利用者の募金活動への参加を促進して募金活動を活性化させ、かつ、募金活動業務の省力化を図る。

【構成】 ガイダンス画面に従った操作者のキー入力に基づき、当該金融取引処理を行う自動金融取引装置において、募金取引を含む複数の取引項目を画面表示する取引種別表示出力部2aと、募金取引の項目の選択入力に基づき、各募金種類項目を画面表示して、募金種類項目の選択入力に対応する募金取引処理を行う募金取引処理部2bと、各募金種類項目に対応して金融機関名や口座番号等の振込み先情報を登録し、募金取引処理部2bが、選択された募金種類への振込み時に参照する募金先テーブル9bと、募金取引処理部2bによる取引処理結果の印字出力を制御する募金証券印字制御部2cとを設けた構成とする。



#### 【特許請求の範囲】

【請求項1】 ガイダンス画面に従った操作者からのキー入力に基づき、入出金取引や振込み取引等の対応する金融取引に係わる処理を行う自動金融取引装置において、募金取引を含む複数の処理対象の取引項目を画面表示し、上記募金取引の項目の選択入力に基づき、募金取引のためのガイダンス画面を表示し、予め登録された金融機関名や口座番号等の募金の振込み先情報に従って募金取引を行い、振込み処理を行うことを特徴とする自動金融取引装置による募金取引システム。

【請求項2】 ガイダンス画面に従った操作者からのキー入力に基づき、入出金取引や振込み取引等の対応する金融取引に係わる処理を行う自動金融取引装置において、募金取引を含む複数の処理対象の取引項目を画面表示する取引種別表示出力手段と、上記募金取引の項目の選択入力に基づき、処理対象の募金種類の項目を画面表示して、該募金種類項目から選択された募金種類に対応する募金の振込み取引処理を行う募金取引処理手段と、上記募金種類のそれぞれに対応する金融機関名や口座番号等の募金の振込み先情報を登録し、上記募金取引処理手段が、上記選択された募金種類への振込み時に参照する募金先テーブルと、上記募金取引処理手段による取引処理結果の印字出力を制御する募金証券印字制御手段とを設けることを特徴とする自動金融取引装置による募金取引システム。

【請求項3】 請求項2に記載の自動金融取引装置による募金取引システムにおいて、上記取引種別表示出力手段による上記募金取引項目の画面、および、上記募金取引処理手段による上記募金種類の項目の画面のそれぞれの表示出力を、自動金融取引装置の管理者からの指示入力に基づき制御する募金取引表示制御手段を設けることを特徴とする自動金融取引装置による募金取引システム。

#### 【発明の詳細な説明】

##### 【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、預貯金や振込み等の金融取引を自動的に行う自動金融取引装置に係わり、特に、募金者の募金手続きを容易とするのに好適な自動金融取引装置による募金取引システムに関するものである。

##### 【0002】

【従来の技術】銀行等において募金を行う場合には、募金者は、所定の用紙に金額等を記載して、現金もしくは貯金通帳と共に、銀行等の係員に渡して依頼するか、または、銀行等に設置されている自動金融取引装置を利用する。この自動金融取引装置を利用した募金先の口座への振込み操作により、利用者は、一般の振込み取引での操作と同様にして、募金を行うことができる。この自動金融取引装置における振込み取引の操作を容易とするための従来技術として、例えば、特開平3-171393

号公報に記載の技術がある。この技術は、振込み先の一覧表を地域を単位とした表示することにより、利用者による振込み先の選択操作を容易とするものである。

【0003】しかし、従来の自動金融取引装置を利用した募金では、利用者は、一般の振込み取引での操作と同様に、募金の振込み先名（金融機関名や支店名等）や口座番号等を入力しなければならず、募金の振込み先名や口座番号等を覚えておくか、それらを記載したメモを用意しなければならない。このように、従来の自動金融取引装置では、募金に関する情報が表示されていないと共に、手続きに負荷がかかるため、自動金融取引装置の利用者に、この自動金融取引装置を利用した募金を促すことはできない。また、自動金融取引装置での一般の振込み取引が禁止されている時には、募金取引もできない。また、自動金融取引装置から印字出力される振込み取引の結果を示す証券は、一般の振込み取引も募金も同じフォーマットであり、利用者は、募金専用の証券を得ることができない。

##### 【0004】

【発明が解決しようとする課題】解決しようとする問題点は、従来の技術では、自動金融取引装置での募金取引を、一般の振込み取引でしか行うことができない点である。本発明の目的は、これら従来技術の課題を解決し、自動金融取引装置を利用した募金を効率良く行うことを可能とする自動金融取引装置による募金取引システムを提供することである。

##### 【0005】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するため、本発明の自動金融取引装置による募金取引システムは、（1）募金取引を含む複数の処理対象の取引項目を画面表示し、操作者のキー操作によるこの画面の募金取引の項目の選択入力に基づき、募金取引のためのガイダンス画面を表示し、予め登録された金融機関名や口座番号等の募金の振込み先情報に従って募金取引を行い、振込み処理を行うことを特徴とする。また、（2）募金取引を含む複数の処理対象の取引項目を画面表示する取引種別表示出力部2aと、画面表示した募金取引の項目の選択入力に基づき、処理対象の募金種類の項目を画面表示して、この画面表示した募金種類項目から選択された募金種類に対応する募金の振込み取引処理を行う募金取引処理部2bと、募金種類のそれぞれに対応する金融機関名や口座番号等の募金の振込み先情報を登録し、募金取引処理部2bが、選択された募金種類への振込み時に参照する募金先テーブル9bと、募金取引処理部2bによる取引処理結果の印字出力を制御する募金証券印字制御部2cとを設けることを特徴とする。また、（3）上記（2）に記載の自動金融取引装置による募金取引システムにおいて、取引種別表示出力部2aによる募金取引項目の画面、および、募金取引処理部2bによる募金種類の項目の画面のそれぞれの表示出力を、自動金融取引

装置の管理者からの指示入力に基づき制御する募金取引表示制御部2eを設けることを特徴とする。

#### 【0006】

【作用】本発明においては、自動金融取引装置による募金取引に係わる処理を、一般の振込み取引と独立に行う。すなわち、まず、操作案内画面（ガイダンス画面）に、この自動金融取引装置で処理可能な取引の選択項目として、入金取引や出金取引、振込み取引等と共に、募金取引の項目を表示する。このことにより、自動金融取引装置の利用者に、この自動金融取引装置を用いて募金が可能であることを知らせ、募金を促すことができる。そして、自動金融取引装置の利用者が、この募金取引項目を選択すると、この自動金融取引装置で取引可能な各募金の名称を、選択項目としてガイダンス画面に表示する。このことにより、利用者は、目的の募金対象を容易に判別し、選択入力することができる。このようにして選択された募金先に対する振込み取引を起動して操作案内画面を表示し、以降、利用者からの入力操作に基づき、募金の振込み取引（募金取引）を行う。ここで、選択された名称の募金に対する取引情報、例えば、募金の振込み先名や口座番号等は、各募金の名称に対応付けられており、利用者（募金者）は、金額の入力操作だけでなく、募金の振込み先名や口座番号等の取引情報の入力操作が不要となり、募金取引の操作負荷を軽減できる。また、募金取引の処理は、一般の振込み取引等、他の処理とは独立して、募金取引処理部で行っており、例えば、一般の振込み取引が停止中であっても募金取引を行うことができ、また、募金取引専用の証書を発行することができる。また、ガイダンス画面での募金取引項目や募金の名称の表示出力を停止することにより、募金取引そのものの取り扱いの許可または停止、あるいは、募金種類毎の取り扱いの許可または停止を設定することができ、自動金融取引装置の係員（管理者）等により、その時点で要求されている募金取引の選定を容易にでき、タイムリーな募金活動の支援を行うことができる。

#### 【0007】

【実施例】以下、本発明の実施例を、図面により詳細に説明する。図1は、本発明の自動金融取引装置による募金取引システムの本発明に係わる構成の一実施例を機能的に示すブロック図、図2は、その募金取引システムを設けた自動金融取引装置の本発明に係わる構成例を示すブロック図である。図2において、1は、銀行等での自動預貯金処理や自動支払処理等の金融取引を自動的に行う自動金融取引装置（図中、ATMと記載）であり、専用回線10を介して接続された上位装置との情報のやり取りに基づき、現金の入出金取引や、他の金融機関への振込み取引等を行う。自動金融取引装置1は、本発明に係わる募金取引を含む種々の金融取引に係わる処理などの装置全体の動作制御を行う制御部2と、利用者からの指示を入力する操作入力部3と、取引に係わる利用者の

操作案内画面を表示する表示部4と、取引結果を用紙に印字して出力する証書印字部5と、利用者の識別用の磁気カード等からの情報を取り込む媒体入力部6と、上位装置との通信制御を行う接続部7と、入金対象の現金を取り込み金額を読み取る現金受付部8と、取引処理に係わる各種データやプログラム等を記憶する記憶部9とにより構成されている。

【0008】図1において示すように、制御部2は、本発明に係わる募金取引を行うために、募金取引を含む複数の処理対象の取引項目からなる取引種別選択画面4aを表示部4に表示する取引種別表示出力部2aと、取引種別選択画面4aの募金取引項目11の選択入力に基づき、募金の振込み取引処理手順を記憶部9の処理手順格納部9aから読み出して、処理対象の各募金種類の項目からなる募金種類選択画面4bの表示や、この募金種類選択画面4bから選択された募金種類に対応する募金取引操作画面4cの表示、および、この募金取引操作画面4c等に対する利用者の操作入力に基づく募金の振込み取引処理を行う募金取引処理部2bと、この募金取引処理部2bによる募金取引結果を、証書印字部5を介して出力する募金証書印字制御部2cと、募金取引処理部2bによる募金取引結果に基づく募金種類毎の取引集計および取引集計結果の証書印字部5を介しての印字出力を行う募金取引集計部2dと、取引種別表示出力部2aにより表示される取引種別選択画面4a内の募金取引項目の表示出力や、募金取引処理部2bにより表示される募金種類選択画面4b内の各募金種類の項目の表示出力を制御する募金取引表示制御部2eとを具備している。また、記憶部9には、募金種類のそれぞれに対応して金融機関名や口座番号等の振込み先情報を登録した募金先テーブル9bが設けられており、募金取引処理部2bは、この募金先テーブル9bを参照して、募金種類選択画面4b内の選択された募金種類への振込み先を読み出し、募金の振込み処理を行う。以下、このような構成の自動金融取引装置による募金取引システムの本発明に係わる動作説明を行う。

【0009】図3は、図1における取引種別選択画面の本発明に係わる具体的な表示例を示す説明図である。本例の取引種別選択画面4aにおいては、募金取引の項目11が表示されており、自動金融取引装置の利用者は、このような取引種別選択画面4aを見て、自動金融取引装置により募金取引を行うことができることを知ることができる。募金取引を行う場合、利用者は、図2の操作入力部3により、または、タッチパネル方式であれば、取引種別選択画面4aの募金取引の項目11を指で触れることにより、募金取引の選択を入力する。募金取引が選択入力されると、図1における制御部2は、募金取引開始を認識し、募金取引処理部2bを起動し、記憶部9の処理手順格納部9aから募金の振込み取引処理手順を読み出し、まず、次の図4に示すような内容の募金種類

選択画面4bを表示する。

【0010】図4は、図1における募金種類選択画面の本発明に係わる具体的な表示例を示す説明図である。本例の募金種類選択画面4bにおいては、「ユニセフ募金」や「NHK歳末助け合い募金」など、自動金融取引装置で処理可能な募金種類項目12～15が表示されている。尚、募金取引をキャンセルして、図3における取引種別選択画面4aに戻すための操作に、取消キー16が設けられている。利用者が募金種類項目12～15から、ある募金種類を選択したならば、図1における制御部2の募金取引処理部2bは、募金取引操作画面4cを表示して、例えば、募金の方法を利用者に選択させる。募金の方法として口座支払いが選択された場合は、媒体（磁気カード等）が必要であり、媒体を図2の媒体入力部6の挿入口に挿入するようとのメッセージを表示する。

【0011】以降の動作説明を、図2を用いて行う。メッセージに従って、利用者が媒体を挿入すると、媒体入力部6は、挿入された媒体の情報を読み取り、制御部2へ伝える。制御部2は、媒体の情報をチェックし、受付可のとき利用者に暗証番号を操作入力部3から入力させ、その情報を記憶部9に記憶する。次に、募金金額の入力を指示するメッセージを表示部4に表示する。利用者が募金する金額を操作入力部3を介して入力したならば、制御部2は、図1における記憶部9の募金先テーブル9bを参照して、募金先の名称に対応する振込み先を読み出し、利用者が入力した金額の利用者の口座から募金の振込み先への振込み処理を、上位装置に依頼する。上位装置は、この依頼に基づく振込み処理を行い、処理を正常終了すれば、その結果を自動金融取引装置1に通知する。この正常終了通知を受けたならば、制御部2は、図1の募金証書印字制御部2cにより、証書印字部5を介して、利用者の口座から指定の金額を募金の振込み先に振り込んだ旨を示す募金証書を印字出力する。証書印字部5による募金証書の発行後に、制御部2は、媒体入力部6に挿入されている媒体を排出して利用者に返却する。

【0012】また、募金の方法として現金による募金を選択された場合には、制御部2は、現金の現金受付部8への挿入を指示するメッセージを表示部4に表示する。このメッセージに従って、利用者が募金する現金を現金受付部8に挿入すると、現金受付部8は現金を計数する。制御部2は、図1における記憶部9の募金先テーブル9bを参照して、記憶部9に記憶してある募金先の名称に対応する振込み先を読み出し、この募金の振込み先へ、現金受付部8で計数した金額を振込むように、上位装置に依頼する。上位装置は、この依頼に基づく振込み処理を行い、処理の正常終了を自動金融取引装置1に通知する。この正常終了通知を受けたならば、制御部2は、図1の募金証書印字制御部2cにより、証書印字部

5を介して、現金受付部8で受け付けた金額を募金の振込み先に振り込んだ旨を示す募金証書を印字出力する。制御部2は、さらに、図1の募金取引集計部2dにより、このような募金取引の結果を、全て、募金種類ごとに集計して記憶部9に記憶し、所定の出力依頼に基づき、その集計結果を、証書印字部5を介して、もしくは、専用の出力装置を介して出力する。

【0013】次に、図5を用いて、自動金融取引装置による募金取引に係わる処理動作を説明する。図5は、図1における自動金融取引装置による募金取引システムの本発明に係わる募金取引処理の動作例を示すフローチャートである。図3に示す取引種別選択画面4aから、利用者が、募金取引項目11を選択して図1の操作入力部3の対応するキーが押下されると（ステップ30）、図1の制御部2は募金取引を認識して、募金取引処理部2bを起動し、まず、利用者に募金種類を選択させるため、図4に示す募金種類選択画面4bを表示する（ステップ31）。利用者が目的の募金種類を選択して、図1の操作入力部3から対応するキー入力となされると（ステップ32）、利用者に募金方法の選択を指示する（ステップ33）。口座支払いの場合は、口座の媒体を挿入させ、媒体情報を読み取る（ステップ34）。

【0014】そして、利用者の操作に基づく口座の暗証番号の入力（ステップ35）と、口座より支払う募金金額の入力を行い（ステップ36）、上位装置（センタ）に対して、支払いを依頼（問合せ）する（ステップ37）。センタからの支払い処理結果に基づき、募金金額を募金種類別に集計する（ステップ38）。そして、募金証書を図2の証書印字部5で印字して出力し（ステップ39）、この募金証書を利用者が受け取ることにより（ステップ40）、募金取引を終了する。また、ステップ33において、募金方法が現金であれば、現金を図2の現金受付部8で受付けた、募金先に振り込む（ステップ41）。尚、ステップ32において、募金種類キーの押下ではなく、図4における取消キー16が押下されたならば（ステップ42）、募金取引を中止する。

【0015】次に、図1の制御部2における募金取引表示制御部2eによる本発明に係わる動作説明を行う。図4における募金種類選択画面4bに示すように、「NHK歳末助け合い募金」などのように、その時期によっては、取り扱わない募金もあり、このような募金に対しては、募金取引の禁止を設定する必要がある。図1に示す募金取引表示制御部2eを具備した構成の制御部2を有する図2における自動金融取引装置1では、このような募金取引の禁止および許可（禁止の解除）の設定を、自動金融取引装置を設置している金融機関の係員が、容易に行うことができる。すなわち、図1において、募金取引表示制御部2eは、係員からの指示入力に基づき、募金取引処理部2bが出力する募金種類選択画面4bの各募金種類項目の内、取り扱うことができなくなった募金

種類の項目にマスクをかける。例えば、「NHK歳末助け合い募金」の項目にマスクがかかると、自動金融取引装置の利用者は、「NHK歳末助け合い募金」を認識することができず、この「NHK歳末助け合い募金」を選択することはない。このことにより、「NHK歳末助け合い募金」への募金取引を禁止することができる。また、募金取引表示制御部2eにより、取引種別表示出力部2aが出力する取引種別選択画面4aの「募金取引」の項目にマスクをかけることにより、この自動金融取引装置による募金取引そのものを禁止することができる。尚、マスク処理を解除することにより、募金取引を許可することができる。尚、募金取引表示制御部2eに対する係員からの設定指示は、一般の振込み取引を禁止する操作と同様の設定モードで行う。

【0016】以上、図1～図5を用いて説明したように、本実施例の自動金融取引装置による募金取引システムでは、自動金融取引装置による募金取引に係わる処理を、一般の振込み取引と独立に行い、操作案内画面（ガイダンス画面）に、処理可能な取引の選択項目として、募金取引の項目を表示する。このことにより、自動金融取引装置の利用者に、この自動金融取引装置を用いて募金が可能なことを知らせ、募金を促すことができる。また、この自動金融取引装置による募金取引の操作においては、募金者は、各募金の金融機関名や口座番号を入力する必要がなく、容易な操作で募金を行うことができる。また、募金結果を専用の用紙に印字して募金者に提供できる。また、一般の振込み取引が停止中であっても募金取引を行うことができ、さらに、募金の振込み元での募金毎の集計を容易に行うことができる。また、自動金融取引装置の係員等の操作に基づき、ガイダンス画面での募金取引項目や募金の名称にマスクをかけることにより、募金取引そのものの取り扱いの停止、あるいは、募金種類毎の取り扱いの停止を設定することができる。このことにより、ある時期においてのみ要求されている募金取引の選定を容易にでき、タイムリーな募金活動の支援を行うことができる。

【0017】尚、本発明は、図1～図5を用いて説明した実施例に限定されるものではなく、その要旨を逸脱しない範囲において種々変更可能である。例えば、本実施例では、募金取引の禁止および許可を、取引種別選択画面や募金種類選択画面に対するマスク処理により行っているが、「募金取引」項目のある取引種別選択画面と無い取引種別選択画面、また、例えば、「NHK歳末助け

合い募金」項目のある募金種類選択画面と無い募金種類選択画面を用意しておき、これらの選択画面を切り換えて表示することで、募金取引の禁止および許可を行うことができる。

#### 【0018】

【発明の効果】本発明によれば、自動金融取引装置での募金取引を一般の振込み取引と独立させ、自動金融取引装置での募金取引を高効率化し、自動金融取引装置の利用者に、簡単な操作で募金させることができ、利用者の募金活動への参加を促進して、募金活動を活性化させることが可能であると共に、募金活動に係わる業務の省力化が可能である。

#### 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の自動金融取引装置による募金取引システムの本発明に係わる構成の一実施例を機能的に示すブロック図である。

【図2】図1における募金取引システムを設けた自動金融取引装置の本発明に係わる構成例を示すブロック図である。

【図3】図1における取引種別選択画面の本発明に係わる具体的な表示例を示す説明図である。

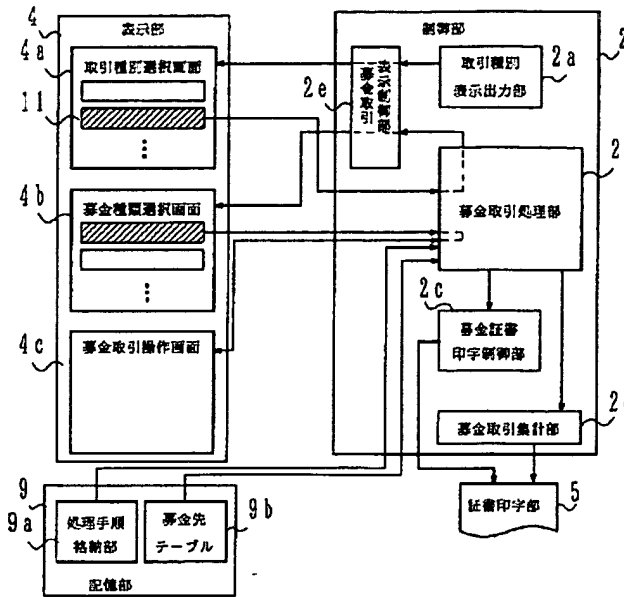
【図4】図1における募金種類選択画面の本発明に係わる具体的な表示例を示す説明図である。

【図5】図1における自動金融取引装置による募金取引システムの本発明に係わる募金取引処理の動作例を示すフローチャートである。

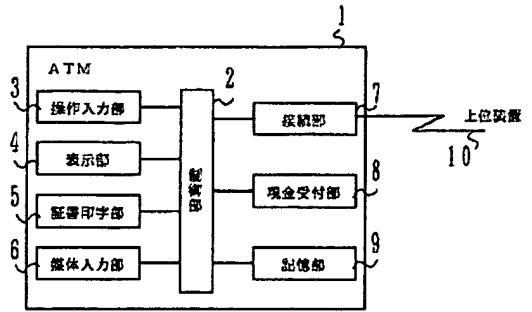
#### 【符号の説明】

- 1 自動金融取引装置
- 2 制御部
- 2a 取引種別表示出力部
- 2b 募金取引処理部
- 2c 募金証書印字制御部
- 2d 募金取引集計部
- 2e 募金取引表示制御部
- 3 操作入力部
- 4 表示部
- 5 証書印字部
- 6 媒体入力部
- 7 接続部
- 8 現金受付部
- 9 記憶部
- 9a 処理手順格納部
- 9b 募金先テーブル

【図1】



【図2】



【図3】

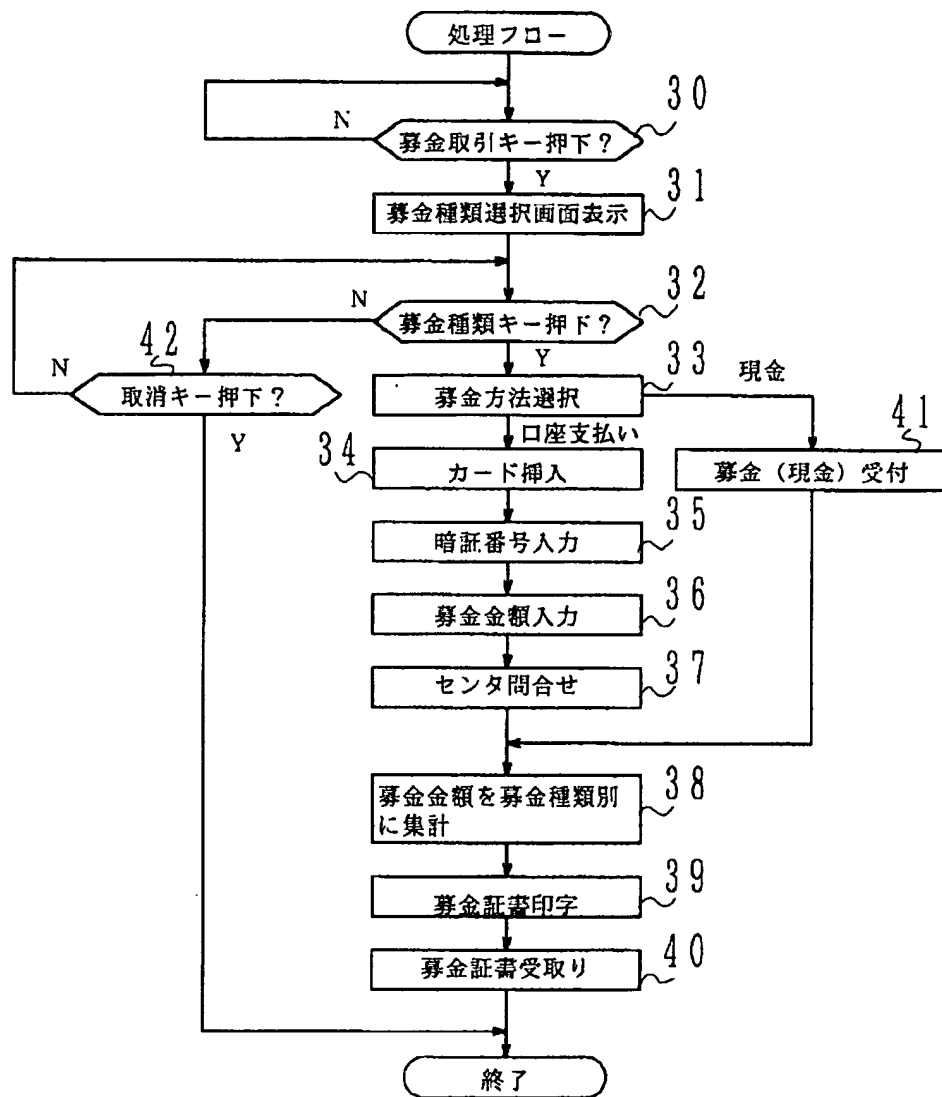
Figure 3 is a screen display for fund withdrawal. It shows a grid of 16 columns and 16 rows. The title bar at the top reads "いらっしやいませ" (Welcome). The first row contains the text "ご利用のお取引の画面を選択してください" (Please select the screen for the transaction you wish to use). The grid contains several rows of buttons, including "現金" (Cash) and "振込" (Transfer).

【図4】

Figure 4 is a screen display for fund type selection. It shows a grid of 16 columns and 16 rows. The title bar at the top reads "募金種類選択" (Fund Type Selection). The first row contains the text "募金の種類を選択してください" (Please select the type of fund). The grid contains several rows of buttons, including "ユニセフ募金" (UNICEF Fund), "NHK義演助け合い募金" (NHK Charity Performance Mutual Aid Fund), "X.X.X.X.X.X募金" (X.X.X.X.X.X Fund), and "取得" (Acquisition).



【図5】



(51)Int.Cl. <sup>o</sup>	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 6 F 19/00				
G 0 7 D 9/00	4 2 6 C			
	4 5 1 C			
			G 0 6 F 15/ 30	3 6 0
				3 2 0
			審査請求 未請求 請求項の数3	O L (全 7 頁)

(21)出願番号 特願平6-18331

(22)出願日 平成6年(1994)2月15日

(71)出願人 000005108

株式会社日立製作所

東京都千代田区神田駿河台四丁目6番地

(71)出願人 000233457

日立中部ソフトウェア株式会社

愛知県名古屋市中区栄3丁目10番22号

(72)発明者 深谷 貞夫

愛知県名古屋市中区栄3丁目10番22号 日

立中部ソフトウェア株式会社内

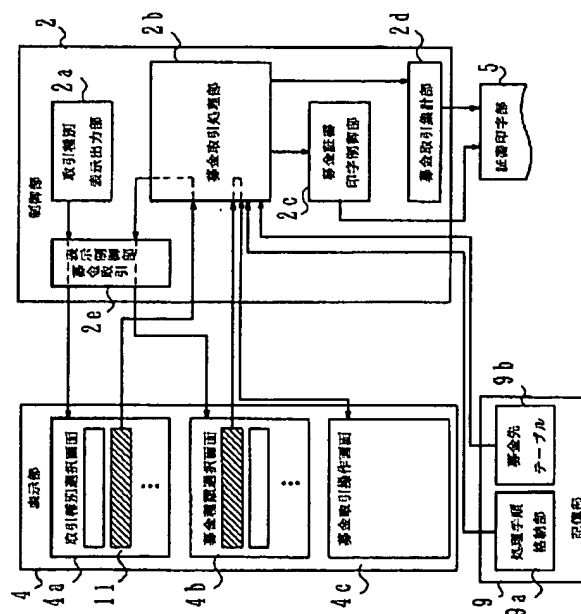
(74)代理人 弁理士 磯村 雅俊

(54)【発明の名称】 自動金融取引装置による募金取引システム

(57)【要約】

【目的】 自動金融取引装置での募金操作を容易にし、利用者の募金活動への参加を促進して募金活動を活性化させ、かつ、募金活動業務の省力化を図る。

【構成】 ガイダンス画面に従った操作者のキー入力に基づき、当該金融取引処理を行う自動金融取引装置において、募金取引を含む複数の取引項目を画面表示する取引種別表示出力部2aと、募金取引の項目の選択入力に基づき、各募金種類項目を画面表示して、募金種類項目の選択入力に対応する募金取引処理を行う募金取引処理部2bと、各募金種類項目に対応して金融機関名や口座番号等の振込み先情報を登録し、募金取引処理部2bが、選択された募金種類への振込み時に参照する募金先テーブル9bと、募金取引処理部2bによる取引処理結果の印字出力を制御する募金証書印字制御部2cとを設けた構成とする。



### 【特許請求の範囲】

【請求項１】 ガイダンス画面に従った操作者からのキー入力に基づき、入出金取引や振込み取引等の対応する金融取引に係わる処理を行う自動金融取引装置において、募金取引を含む複数の処理対象の取引項目を画面表示し、上記募金取引の項目の選択入力に基づき、募金取引のためのガイダンス画面を表示し、予め登録された金融機関名や口座番号等の募金の振込み先情報に従って募金取引を行い、振込み処理を行うことを特徴とする自動金融取引装置による募金取引システム。

【請求項２】 ガイダンス画面に従った操作者からのキー入力に基づき、入出金取引や振込み取引等の対応する金融取引に係わる処理を行う自動金融取引装置において、募金取引を含む複数の処理対象の取引項目を画面表示する取引種別表示出力手段と、上記募金取引の項目の選択入力に基づき、処理対象の募金種類の項目を画面表示して、該募金種類項目から選択された募金種類に対応する募金の振込み取引処理を行う募金取引処理手段と、上記募金種類のそれぞれに対応する金融機関名や口座番号等の募金の振込み先情報を登録し、上記募金取引処理手段が、上記選択された募金種類への振込み時に参照する募金先テーブルと、上記募金取引処理手段による取引処理結果の印字出力を制御する募金証書印字制御手段とを設けることを特徴とする自動金融取引装置による募金取引システム。

【請求項３】 請求項２に記載の自動金融取引装置による募金取引システムにおいて、上記取引種別表示出力手段による上記募金取引項目の画面、および、上記募金取引処理手段による上記募金種類の項目の画面のそれぞれの表示出力を、自動金融取引装置の管理者からの指示入力に基づき制御する募金取引表示制御手段を設けることを特徴とする自動金融取引装置による募金取引システム。

### 【発明の詳細な説明】

#### 【０００１】

【産業上の利用分野】本発明は、預貯金や振込み等の金融取引を自動的に行う自動金融取引装置に係わり、特に、募金者の募金手続きを容易とするのに好適な自動金融取引装置による募金取引システムに関するものである。

#### 【０００２】

【従来の技術】銀行等において募金を行う場合には、募金者は、所定の用紙に金額等を記載して、現金もしくは貯金通帳と共に、銀行等の係員に渡して依頼するか、または、銀行等に設置されている自動金融取引装置を利用する。この自動金融取引装置を利用した募金先の口座への振込み操作により、利用者は、一般の振込み取引での操作と同様にして、募金を行うことができる。この自動金融取引装置における振込み取引の操作を容易とするための従来技術として、例えば、特開平３－１７１３９３

号公報に記載の技術がある。この技術は、振込み先の一覧表を地域を単位とした表示することにより、利用者による振込み先の選択操作を容易とするものである。

【０００３】しかし、従来の自動金融取引装置を利用した募金では、利用者は、一般の振込み取引での操作と同様に、募金の振込み先名（金融機関名や支店名等）や口座番号等を入力しなければならず、募金の振込み先名や口座番号等を覚えておくか、それらを記載したメモを用意しなければならない。このように、従来の自動金融取引装置では、募金に関する情報が表示されていないと共に、手続きに負荷がかかるため、自動金融取引装置の利用者に、この自動金融取引装置を利用した募金を促すことはできない。また、自動金融取引装置での一般の振込み取引が禁止されている時には、募金取引もできない。また、自動金融取引装置から印字出力される振込み取引の結果を示す証書は、一般の振込み取引も募金も同じフォーマットであり、利用者は、募金専用の証書を得ることができない。

#### 【０００４】

【発明が解決しようとする課題】解決しようとする問題点は、従来の技術では、自動金融取引装置での募金取引を、一般の振込み取引でしか行うことができない点である。本発明の目的は、これら従来技術の課題を解決し、自動金融取引装置を利用した募金を効率良く行うことを可能とする自動金融取引装置による募金取引システムを提供することである。

#### 【０００５】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するため、本発明の自動金融取引装置による募金取引システムは、（１）募金取引を含む複数の処理対象の取引項目を画面表示し、操作者のキー操作によるこの画面の募金取引の項目の選択入力に基づき、募金取引のためのガイダンス画面を表示し、予め登録された金融機関名や口座番号等の募金の振込み先情報に従って募金取引を行い、振込み処理を行うことを特徴とする。また、（２）募金取引を含む複数の処理対象の取引項目を画面表示する取引種別表示出力部２aと、画面表示した募金取引の項目の選択入力に基づき、処理対象の募金種類の項目を画面表示して、この画面表示した募金種類項目から選択された募金種類に対応する募金の振込み取引処理を行う募金取引処理部２bと、募金種類のそれぞれに対応する金融機関名や口座番号等の募金の振込み先情報を登録し、募金取引処理部２bが、選択された募金種類への振込み時に参照する募金先テーブル９bと、募金取引処理部２bによる取引処理結果の印字出力を制御する募金証書印字制御部２cとを設けることを特徴とする。また、（３）上記（２）に記載の自動金融取引装置による募金取引システムにおいて、取引種別表示出力部２aによる募金取引項目の画面、および、募金取引処理部２bによる募金種類の項目の画面のそれぞれの表示出力を、自動金融取引

装置の管理者からの指示入力に基づき制御する募金取引表示制御部 2 e を設けることを特徴とする。

#### 【0006】

【作用】本発明においては、自動金融取引装置による募金取引に係わる処理を、一般の振込み取引と独立に行う。すなわち、まず、操作案内画面（ガイダンス画面）に、この自動金融取引装置で処理可能な取引の選択項目として、入金取引や出金取引、振込み取引等と共に、募金取引の項目を表示する。このことにより、自動金融取引装置の利用者に、この自動金融取引装置を用いて募金が可能であることを知らせ、募金を促すことができる。そして、自動金融取引装置の利用者が、この募金取引項目を選択すると、この自動金融取引装置で取引可能な各募金の名称を、選択項目としてガイダンス画面に表示する。このことにより、利用者は、目的の募金対象を容易に判別し、選択入力することができる。このようにして選択された募金先に対する振込み取引を起動して操作案内画面を表示し、以降、利用者からの入力操作に基づき、募金の振込み取引（募金取引）を行う。ここで、選択された名称の募金に対する取引情報、例えば、募金の振込み先名や口座番号等は、各募金の名称に対応付けられており、利用者（募金者）は、金額の入力操作だけで良く、募金の振込み先名や口座番号等の取引情報の入力操作が不要となり、募金取引の操作負荷を軽減できる。また、募金取引の処理は、一般の振込み取引等、他の処理とは独立して、募金取引処理部で行っており、例えば、一般の振込み取引が停止中であっても募金取引を行うことができ、また、募金取引専用の証書を発行することができる。また、ガイダンス画面での募金取引項目や募金の名称の表示出力を停止することにより、募金取引そのものの取り扱いの許可または停止、あるいは、募金種類毎の取り扱いの許可または停止を設定することができ、自動金融取引装置の係員（管理者）等により、その時点で要求されている募金取引の選定を容易にでき、タイムリーな募金活動の支援を行うことができる。

#### 【0007】

【実施例】以下、本発明の実施例を、図面により詳細に説明する。図 1 は、本発明の自動金融取引装置による募金取引システムの本発明に係わる構成の一実施例を機能的に示すブロック図、図 2 は、その募金取引システムを設けた自動金融取引装置の本発明に係わる構成例を示すブロック図である。図 2 において、1 は、銀行等での自動預貯金処理や自動支払処理等の金融取引を自動的に行う自動金融取引装置（図中、ATMと記載）であり、専用回線 10 を介して接続された上位装置との情報のやり取りに基づき、現金の入出金取引や、他の金融機関への振込み取引等を行う。自動金融取引装置 1 は、本発明に係わる募金取引を含む種々の金融取引に係わる処理などの装置全体の動作制御を行う制御部 2 と、利用者からの指示を入力する操作入力部 3 と、取引に係わる利用者の

操作案内画面を表示する表示部 4 と、取引結果を用紙に印字して出力する証書印字部 5 と、利用者の識別用の磁気カード等からの情報を取り込む媒体入力部 6 と、上位装置との通信制御を行う接続部 7 と、入金対象の現金を取り込み金額を読み取る現金受付部 8 と、取引処理に係わる各種データやプログラム等を記憶する記憶部 9 とにより構成されている。

【0008】図 1 において示すように、制御部 2 は、本発明に係わる募金取引を行うために、募金取引を含む複数の処理対象の取引項目からなる取引種別選択画面 4 a を表示部 4 に表示する取引種別表示出力部 2 a と、取引種別選択画面 4 a の募金取引項目 11 の選択入力に基づき、募金の振込み取引処理手順を記憶部 9 の処理手順格納部 9 a から読み出して、処理対象の各募金種類の項目からなる募金種類選択画面 4 b の表示や、この募金種類選択画面 4 b から選択された募金種類に対応する募金取引操作画面 4 c の表示、および、この募金取引操作画面 4 c 等に対する利用者の操作入力に基づく募金の振込み取引処理を行う募金取引処理部 2 b と、この募金取引処理部 2 b による募金取引結果を、証書印字部 5 を介して出力する募金証書印字制御部 2 c と、募金取引処理部 2 b による募金取引結果に基づく募金種類毎の取引集計および取引集計結果の証書印字部 5 を介しての印字出力とを行う募金取引集計部 2 d と、取引種別表示出力部 2 a により表示される取引種別選択画面 4 a 内の募金取引項目の表示出力や、募金取引処理部 2 b により表示される募金種類選択画面 4 b 内の各募金種類の項目の表示出力を制御する募金取引表示制御部 2 e とを具備している。また、記憶部 9 には、募金種類のそれぞれに対応して金融機関名や口座番号等の振込み先情報を登録した募金先テーブル 9 b が設けられており、募金取引処理部 2 b は、この募金先テーブル 9 b を参照して、募金種類選択画面 4 b 内の選択された募金種類への振込み先を読み出し、募金の振込み処理を行う。以下、このような構成の自動金融取引装置による募金取引システムの本発明に係わる動作説明を行う。

【0009】図 3 は、図 1 における取引種別選択画面の本発明に係わる具体的な表示例を示す説明図である。本例の取引種別選択画面 4 a においては、募金取引の項目 11 が表示されており、自動金融取引装置の利用者は、このような取引種別選択画面 4 a を見て、自動金融取引装置により募金取引を行うことができることを知ることができる。募金取引を行う場合、利用者は、図 2 の操作入力部 3 により、または、タッチパネル方式であれば、取引種別選択画面 4 a の募金取引の項目 11 を指で触れることにより、募金取引の選択を入力する。募金取引が選択入力されると、図 1 における制御部 2 は、募金取引開始を認識し、募金取引処理部 2 b を起動し、記憶部 9 の処理手順格納部 9 a から募金の振込み取引処理手順を読み出し、まず、次の図 4 に示すような内容の募金種類

選択画面4 bを表示する。

【0010】図4は、図1における募金種類選択画面の本発明に係わる具体的な表示例を示す説明図である。本例の募金種類選択画面4 bにおいては、「ユニセフ募金」や「NHK歳末助け合い募金」など、自動金融取引装置で処理可能な募金種類項目1 2～1 5が表示されている。尚、募金取引をキャンセルして、図3における取引種別選択画面4 aに戻すための操作用に、取消キー1 6が設けられている。利用者が募金種類項目1 2～1 5から、ある募金種類を選択したならば、図1における制御部2の募金取引処理部2 bは、募金取引操作画面4 cを表示して、例えば、募金の方法を利用者に選択させる。募金の方法として口座支払いが選択された場合は、媒体（磁気カード等）が必要であり、媒体を図2の媒体入力部6の挿入口に挿入するようにとのメッセージを表示する。

【0011】以降の動作説明を、図2を用いて行う。メッセージに従って、利用者が媒体を挿入すると、媒体入力部6は、挿入された媒体の情報を読み取り、制御部2へ伝える。制御部2は、媒体の情報をチェックし、受付可のとき利用者に暗証番号を操作入力部3から入力させ、その情報を記憶部9に記憶する。次に、募金金額の入力を指示するメッセージを表示部4に表示する。利用者が募金する金額を操作入力部3を介して入力したならば、制御部2は、図1における記憶部9の募金先テーブル9 bを参照して、募金先の名称に対応する振込み先を読み出し、利用者が入力した金額の利用者の口座から募金の振込み先への振込み処理を、上位装置に依頼する。上位装置は、この依頼に基づく振込み処理を行い、処理を正常終了すれば、その結果を自動金融取引装置1に通知する。この正常終了通知を受けたならば、制御部2は、図1の募金証書印字制御部2 cにより、証書印字部5を介して、利用者の口座から指定の金額を募金の振込み先に振り込んだ旨を示す募金証書を印字出力する。証書印字部5による募金証書の発行後に、制御部2は、媒体入力部6に挿入されている媒体を排出して利用者に返却する。

【0012】また、募金の方法として現金による募金を選択された場合には、制御部2は、現金の現金受付部8への挿入を指示するメッセージを表示部4に表示する。このメッセージに従って、利用者が募金する現金を現金受付部8に挿入すると、現金受付部8は現金を計数する。制御部2は、図1における記憶部9の募金先テーブル9 bを参照して、記憶部9に記憶してある募金先の名称に対応する振込み先を読み出し、この募金の振込み先へ、現金受付部8で計数した金額を振込むように、上位装置に依頼する。上位装置は、この依頼に基づく振込み処理を行い、処理の正常終了を自動金融取引装置1に通知する。この正常終了通知を受けたならば、制御部2は、図1の募金証書印字制御部2 cにより、証書印字部

5を介して、現金受付部8で受け付けた金額を募金の振込み先に振り込んだ旨を示す募金証書を印字出力する。制御部2は、さらに、図1の募金取引集計部2 dにより、このような募金取引の結果を、全て、募金種類ごとに集計して記憶部9に記憶し、所定の出力依頼に基づき、その集計結果を、証書印字部5を介して、もしくは、専用の出力装置を介して出力する。

【0013】次に、図5を用いて、自動金融取引装置による募金取引に係わる処理動作を説明する。図5は、図1における自動金融取引装置による募金取引システムの本発明に係わる募金取引処理の動作例を示すフローチャートである。図3に示す取引種別選択画面4 aから、利用者が、募金取引項目1 1を選択して図1の操作入力部3の対応するキーが押下されると（ステップ3 0）、図1の制御部2は募金取引を認識して、募金取引処理部2 bを起動し、まず、利用者に募金種類を選択させるため、図4に示す募金種類選択画面4 bを表示する（ステップ3 1）。利用者が目的の募金種類を選択して、図1の操作入力部3から対応するキー入力がなされると（ステップ3 2）、利用者に募金方法の選択を指示する（ステップ3 3）。口座支払いの場合は、口座の媒体を挿入させ、媒体情報を読み取る（ステップ3 4）。

【0014】そして、利用者の操作に基づく口座の暗証番号の入力（ステップ3 5）と、口座より支払う募金金額の入力を行い（ステップ3 6）、上位装置（センタ）に対して、支払いを依頼（問合せ）する（ステップ3 7）。センタからの支払い処理結果に基づき、募金金額を募金種類別に集計する（ステップ3 8）。そして、募金証書を図2の証書印字部5で印字して出力し（ステップ3 9）、この募金証書を利用者が受け取ることにより（ステップ4 0）、募金取引を終了する。また、ステップ3 3において、募金方法が現金であれば、現金を図2の現金受付部8で受け付けて、募金先に振り込む（ステップ4 1）。尚、ステップ3 2において、募金種類キーの押下ではなく、図4における取消キー1 6が押下されたならば（ステップ4 2）、募金取引を中止する。

【0015】次に、図1の制御部2における募金取引表示制御部2 eによる本発明に係わる動作説明を行う。図4における募金種類選択画面4 bに示すように、「NHK歳末助け合い募金」などのように、その時期によっては、取り扱わない募金もあり、このような募金に対しては、募金取引の禁止を設定する必要がある。図1に示す募金取引表示制御部2 eを具備した構成の制御部2を有する図2における自動金融取引装置1では、このような募金取引の禁止および許可（禁止の解除）の設定を、自動金融取引装置を設置している金融機関の係員が、容易に行うことができる。すなわち、図1において、募金取引表示制御部2 eは、係員からの指示入力に基づき、募金取引処理部2 bが出力する募金種類選択画面4 bの各募金種類項目の内、取り扱うことができなくなった募金

種類の項目にマスクをかける。例えば、「NHK歳末助け合い募金」の項目にマスクがかかると、自動金融取引装置の利用者は、「NHK歳末助け合い募金」を認識することができず、この「NHK歳末助け合い募金」を選択することはない。このことにより、「NHK歳末助け合い募金」への募金取引を禁止することができる。また、募金取引表示制御部2eにより、取引種別表示出力部2aが出力する取引種別選択画面4aの「募金取引」の項目にマスクをかけることにより、この自動金融取引装置による募金取引そのものを禁止することができる。尚、マスク処理を解除することにより、募金取引を許可することができる。尚、募金取引表示制御部2eに対する係員からの設定指示は、一般の振込み取引を禁止する操作と同様の設定モードで行う。

【0016】以上、図1～図5を用いて説明したように、本実施例の自動金融取引装置による募金取引システムでは、自動金融取引装置による募金取引に係わる処理を、一般の振込み取引と独立に行い、操作案内画面（ガイダンス画面）に、処理可能な取引の選択項目として、募金取引の項目を表示する。このことにより、自動金融取引装置の利用者に、この自動金融取引装置を用いて募金が可能なことを知らせ、募金を促すことができる。また、この自動金融取引装置による募金取引の操作においては、募金者は、各募金の金融機関名や口座番号を入力する必要がなく、容易な操作で募金を行うことができる。また、募金結果を専用の用紙に印字して募金者に提供できる。また、一般の振込み取引が停止中であっても募金取引を行うことができ、さらに、募金の振込み元での募金毎の集計を容易に行うことができる。また、自動金融取引装置の係員等の操作に基づき、ガイダンス画面での募金取引項目や募金の名称にマスクをかけることにより、募金取引そのものの取り扱いの停止、あるいは、募金種類毎の取り扱いの停止を設定することができる。このことにより、ある時期においてのみ要求されている募金取引の選定を容易にでき、タイムリーな募金活動の支援を行うことができる。

【0017】尚、本発明は、図1～図5を用いて説明した実施例に限定されるものではなく、その要旨を逸脱しない範囲において種々変更可能である。例えば、本実施例では、募金取引の禁止および許可を、取引種別選択画面や募金種類選択画面に対するマスク処理により行っているが、「募金取引」項目のある取引種別選択画面と無い取引種別選択画面、また、例えば、「NHK歳末助け

合い募金」項目のある募金種類選択画面と無い募金種類選択画面を用意しておき、これらの選択画面を切り換えて表示することで、募金取引の禁止および許可を行うことができる。

#### 【0018】

【発明の効果】本発明によれば、自動金融取引装置での募金取引を一般の振込み取引と独立させ、自動金融取引装置での募金取引を高効率化し、自動金融取引装置の利用者に、簡単な操作で募金させることができ、利用者の募金活動への参加を促進して、募金活動を活性化させることが可能であると共に、募金活動に係わる業務の省力化が可能である。

#### 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の自動金融取引装置による募金取引システムの本発明に係わる構成の一実施例を機能的に示すブロック図である。

【図2】図1における募金取引システムを設けた自動金融取引装置の本発明に係わる構成例を示すブロック図である。

【図3】図1における取引種別選択画面の本発明に係わる具体的な表示例を示す説明図である。

【図4】図1における募金種類選択画面の本発明に係わる具体的な表示例を示す説明図である。

【図5】図1における自動金融取引装置による募金取引システムの本発明に係わる募金取引処理の動作例を示すフローチャートである。

#### 【符号の説明】

- 1 自動金融取引装置
- 2 制御部
  - 2a 取引種別表示出力部
  - 2b 募金取引処理部
  - 2c 募金証書印字制御部
  - 2d 募金取引集計部
  - 2e 募金取引表示制御部
- 3 操作入力部
- 4 表示部
- 5 証書印字部
- 6 媒体入力部
- 7 接続部
- 8 現金受付部
- 9 記憶部
  - 9a 処理手順格納部
  - 9b 募金先テーブル



【図5】

